

## 2025年度第2回岩手医科大学附属病院医療安全に係る監査委員会 議事録

1. 日時：2026年2月27日（金）15時00分～16時35分

2. 会場：岩手医科大学附属病院 10階大会議室

3. 出席者：【委員】佐藤伸之委員長、長谷川頌委員、奥寺高秋委員

【病院側】森野病院長、肥田副院長/医療安全管理部長、佐藤副院長/看護部長、田中医療放射線安全管理責任者、朝賀医薬品安全管理責任者、泉田医療機器安全管理責任者、村山病院事務部長、鎌田内部監査室長、病院企画課、医療安全管理部、内部監査室（※欠席：工藤薬剤部長）

### 4. 監査内容

#### (1) 院内巡視

浅尾専従看護師長より巡視病棟（小児病棟・東7B病棟）の説明があり、委員および医療安全管理部による院内巡視を行った。

#### (2) 前回議事録（案）の確認

前回監査委員会の議事録の提示があり、内容について確認を行った。

#### (3) 2025年度活動中間報告

肥田管理部長および浅尾専従看護師長より、資料に基づき、2025年度活動中間報告について説明があった。

#### (4) 医療事故の再発防止策の取り組みについて

肥田管理部長および浅尾専従看護師長より、資料に基づき、医療事故の再発防止策の取り組みについて説明があった。

### 5. 総評

- ・特に、今回は病棟を見せていただき勉強になった。5Sが行き届いている点に感銘を受け、また、小児科病棟でモニタに向かって座って観察している様子から、頑張っていることがわかった。アクシデント件数については、より高みを目指すことは非常によいと思うが、十分達成できていると思う。件数を増やすとすれば、現在取り組んでいるように、レベル0の報告や、医師・研修医からの報告を増やすことを地道に取り組んでいただけるとよいと思う。患者誤認や転倒・転落は、解決することがなかなか難しいが、決めた取り組みを地道に実行しつつ、新たな試みも加えて進んでいただきたい。
- ・モニタ関係を見せていただいたが、改善すべきところに真摯に取り組んでいて、非常に安心感があった。特に最近、地方からの若い人材流出が厳しく、非常に歯がゆく思っているが、医療を目指す岩手の若者にとっては、魅力あるトップの職場と位置付けられることから、常にそのような存在であってほしいとの意味も込めて、これからも頑張ってください。
- ・転倒・転落の件も含め、リスクのある所に、リスクどおりの結果が出ているという印象を受けている。逆に言うと、他の対策がきちんとできているために、リスクが高いところが表出化していると考えられ、避けなければいけないが、0にすることが難しいところでもあると思う。一つひとつの課題をつぶすように、これまでどおりの形で進めていただくとよい。

以上をもって、医療安全に係る監査委員会規程第2条ならびに第3条に基づく監査を終了したことを確認した。報告書を作成しホームページに公表するものとする。

2026年4月13日

委員長 佐藤 伸之

委員 長谷川 頌

委員 奥寺 高秋